

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-233	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コⅡ・355	ATLANTIS Hybrid English Communication II Standard		

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりすることやペアワーク等で、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるよう留意する。
- 三 英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容とする。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで、視野を広げることができるようにする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心を持てるような内容を厳選する。

2. 対照表

A 目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Grammar Review from ATLANTIS Hybrid English Communication I Standard	本書の特色である、執筆者がネイティブスピーカーである、という点を活かして、コミュニケーションⅠで学んだ文法事項を異なった状況下において紹介する。場面が変わっても運用できることを実感できることで、より自信を持って学習がスタートできるよう意を用いた。(第1号)	1～6 ページ
Classroom English を導入 する。	教室でよく使う表現についてまとめた。(第1号)	7ページ
Lesson 1 - What do foreigners think about Japan? - 外国人の物の見方 を学ぶ	日本に住む外国人の異なる価値観を学び、(第2号)、また、外国人の目に映る日本人の姿について学ぶことで、我が国の文化について客観的に考察できるよう意を用いた。(第5号)	8～ 13ペー ジ
Lesson 2 - What is your favorite season? - 四季を味 わう	四季折々の美しさについてのストーリーを、英語らしい描写を通して触れることで、より幅広く自然の美しさや素晴らしさについて表現できるよう意を用いた。(第4号)	14～ 19ペー ジ
Lesson 3 - Welcome to	オーストラリアの都市、文化、自然について学ぶ。特に、	20～

Australia・オーストラリアを知る	雄大な自然や熱帯雨林の保全についての考察を深められるよう工夫した。(第4号)	26ページ
Lesson 4・Tsu-ju and Kemari・the Forerunners to Soccer・サッカーの先駆けを知る	世界で最も人気のあるスポーツの1つである「サッカー」について、その先駆的存在であった「蹴鞠」について学ぶ。多くの人がサッカーの起源はヨーロッパにあると思いがちだが、実はその起源はアジアにあった、という事実は、自国のルーツを知るきっかけになるよう意を用いた。(第1号)	33～40ページ
Lesson 5・Our Experiences Abroad・国による習慣の差異を学ぶ	「所変われば品変わる」と言われるように、住んでいる地域や文化が異なるとその物の見方考え方も異なることを題材とした。ナオミとジェイソンの物語を読むことで、日本以外の国々の価値観に触れ、他国の考え方を尊重する態度が養えるよう工夫した。(第5号)	41～47ページ
Lesson 6・Global Warming・地球温暖化について考える	人類が抱える最も深刻な問題の1つである「地球温暖化」について考える。地球温暖化が引き起こされる原因とその対策について私たち1人1人が一体何ができるのかについて考察できるよう意を用いた。(第4号)	48～54ページ
Lesson 7・Robert Johnson and the Blues・ブルースについて学ぶ	アメリカにおける音楽のルーツを通して、その考え方や価値観、歴史的背景が学べるよう意を用いた。(第1号)	63～69ページ
Lesson 8・Life After High School・高校卒業後の進路について考える	高校卒業後の進路について一例えば、就職、大学進学、専門学校への進学、留学など、より具体的に身近なこととして考えられるよう意を用いた。(第2号)	70～76ページ
Lesson 9・Mount Fuji・富士山の現状を知る	富士山の現状を学ぶことで、環境保全の重要性について考える。未来の子どもたちのために今何をすべきなのかについて自ら考え、そのための社会活動に主体的に参加する精神が養えるよう工夫した。(第3号)	77～83ページ
Lesson 10・Valentine's Day, White Day, Black Day・国による祝い方を知る	バレンタインデーやホワイトデーについてだけではなく、韓国で祝われている「ブラックデー」について学ぶ。また、韓国の習慣について理解が深められるよう意を用いた。(第1号)	90～96ページ
Lesson 11・The Olympic Games・オリンピックの起源と歴史を学ぶ	2020年東京オリンピックの開催を前に、オリンピックの古代と近代の歴史的背景について学びを深めることで、国際理解を深め、我が国の発展に寄与する態度を育成できるよう意を用いた。(第5号)	97～103ページ
Lesson 12・Humans and Animals・人間と動物の違いについて理解する	人間と動物の差異について学ぶことを通し、人間の優位性について考えが深められるよう構成した。(第1号)	104～110ページ
Reading・Charles Dickens	世界で最も愛されている作家の1人であるチャールズ・	119～

<p>- ディケンズの生涯と彼の作品を読み深める</p>	<p>ディケンズについて読み進める。ディケンズの幼少期はとてつ困難が多かつたにも関わらず偉大な作家になれたのはなぜなのか。生徒一人一人が自分自身の生き方と重ねることで、自分にとっては不利だと思われることも、後に大きな成功につながることもあるということをつディケンズの一生を通して学んでみる。(第1号)</p>	<p>124ページ</p>
<p>Additional Reading - Four fables for your reading pleasure <i>by</i> Aesop</p>	<p>4つのイソップの物語を通して、人間の本质について読み見識を広げる。4つの物語がそれぞれに教える教訓をどのように理解したかを相手と共有し、その学びを実生活に活かしていく。(第1号)</p>	<p>125～128ページ</p>
<p>Vocabulary Builder - 同義語を使って語い力を強化する</p>	<p>辞書を使いながら、単語の意味を確認し語彙力を強化する。「同義語」を増やすことは言い換えや言い回しの多様性につながる。各レッスンの復習、及び、既習事項との関連性をもたせ、幅広い単語力を身に付ける。(第1号)</p>	<p>129～132ページ</p>
<p>Review 1, 2, 3, 4 - 各レッスン等の復習をする。</p>	<p>各レッスン等の復習をする。学んだことがより定着するよう4回の復習パートを設けた。(第1号)</p>	<p>27～30ページ、55～58ページ、84～87ページ、111～114ページ</p>
<p>Grammar in Daily Use - 学んだ文法事項が、実際の生活場面においてどのように使われているかを学ぶ。</p>	<p>本書の特色である、執筆者がネイティブスピーカーである、という点を活かして、学んだ文法事項が実際にどのように使われているのか、を本文とは異なつた文面で紹介することで、生きた英語に触れていることをより実感できるよう意を用いた。(第1号)</p>	<p>31ページ、59ページ、88ページ、115ページ</p>
<p>Sing a song - Take Me Out To The Ball, We Wish You a Merry Christmas を通して、英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ。</p>	<p>英語の歌を通して、より英語学習に興味関心が持てるよう意を用いた。(第1号)</p>	<p>32ページ、89ページ</p>
<p>Writing and Presentation</p>	<p>プレゼンテーションの手法の1つについて学ぶ。効果的な発表の仕方とその表現方法についての知識を深めることで、相手により伝わりやすい話し方や書き方について学ぶ。(第1号)</p>	<p>60～62ページ</p>
<p>Storytelling from Pictures</p>	<p>写真をもとにして物語文をつくる練習を行う。友達と協力して文面を考えたり、発表を工夫する中で、ユーモアあふれる発表がつけれるよう意を用いた。(第1号)</p>	<p>116～118ページ</p>

Word/Phrase Listー本書であつかう語句を一覧にして学ぶ。	本書に出てくるすべての英単語を網羅した。また、辞書を使うことを促し、自立した学習態度を育成するため、適宜空所を設けた。(第1号)	133～ 138ページ
Fluency・ネイティブスピーカーのように話すヒントと練習	4つのポイントに分けて発音指導をする。日常でよく使う英語表現を厳選しつつ、英語をより英語らしく発音し、英語話者にわかりやすい印象を与えられるよう意を用いた。(第1号)	139～ 140ページ
B.各レッスンの構成		
Cover pageーレッスンに関連する簡単な質問や写真を通してレッスンへの予備知識を高める。	英語を通して幅広い知識と国際感覚が養えるよう意を用いた。(第1号)	各レッスン1ページ目
Visual Warm-Upー写真や図をヒントに、簡単な英文をつくる。レッスンに関連したトピックについての興味関心を高め、題材への理解を深める。	レッスントピックに深く関わる問題文を厳選した。様々な価値観が学び視野が深まるよう意を用いた。(第2号)	各レッスン2ページ目
Grammarー文法を先に学習することで、Reading 導入への抵抗感を和らげ、スムーズな移行を図る。	英語の言語の特性をできるだけシンプルに学べるよう意を用いた。(第1号)	各レッスン3ページ目
Readingーreading の題材だけにできるだけ集中して学ぶことによって、内容理解を深めたり自分の考えを広げたりする。	様々な題材に触れることで、国際感覚を養い、また他国を尊重し、国際社会についての視野が広がるような内容を厳選した。(第5号)	各レッスン4～5ページ目
Listening, Writing, Speakingー学習した内容をもとに、情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	レッスンのトピックに関わる内容と、自分自身のことについて学べる内容をバランス良く配置した。ペアや3～4人のグループ、クラス全体で行う活動を行うことで、自他を尊重する態度を養えるよう意を用いた。(第3号)	各レッスン6ページ目

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
Lesson 1 - What do foreigners think about Japan? - 外国人の物の見方を学ぶ	進んで外国の文化の理解しようとする態度を育むとともに、外国人の意見を尊重することをきっかけに、国際社会の平和と発展に理解を示すことができるよう意を用いた。(学校教育法第二章三)	1～ 6ページ
Lesson 7 - Robert Johnson and the Blues - ブルースについて学ぶ	ブルース、ジャズ、ヒップホップという音楽のジャンルを通して、その文化的背景や言語の特性等を理解できるよう意を用いた。(学校教育法第二章九)	63～ 69ページ
Lesson 8 - Life After High School - 高校卒業後の進路について考える	四人の高校生の進路について読み深めることで、職業選択の上で起こりうる悩みや必要な技能の習得等について、より身近で等身大の出来事として体験し、将来の進路をより深く考えられるよう工夫した。(学校教育法第二章十)	70～ 76ページ
Sing a song - Take Me Out To The Ball, We Wish You a Merry Christmas を通して、英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ。	英語の歌を通して、その文化的背景や言語の特性等を理解できるよう意を用いた。(学校教育法第二章九)	32ページ、 89ページ

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-233	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コⅡ・355	ATLANTIS Hybrid English Communication II Standard		

1. 編修上特に意を用いた特色

特色1・繰り返しによる学習

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持つよう意を用いた。例えば、トピックに関する事項や問題がレッスン全体に渡ること、語彙を少しずつ紹介し、本文では新しい文章の中に組み込まれること、重要文法事項が本文に1度だけではなく、何度も出てくるよう、かつそれが外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意した。

特色2・段階を追った発展的な問題

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

特色3・継続的な学習意欲の育成

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

2. 対照表

A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1.Cover Pageーレッスンに関連する簡単な質問や写真を通してレッスンへの予備知識を高める。	内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	各レッスン1ページ目	1
2.Visual Warm-Upー写真や図をヒントに、簡単な英文をつくる。レッスンに関連したトピックについての興味関心を高め、題材への理解を深める。	内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 内容（2）ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	各レッスン2ページ目	
3.Grammarー文法を先に学習することで、本文導入への抵抗感を和らげ、スムーズな移行を図る。	内容（2）ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 内容の取扱い	各レッスン3ページ目、ただしレッスン3は3、4ページ	2

	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に 取り扱うものとする 内容の取扱い(2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言 語活動を経験させながら、中学校や高等学校 における学習内容を繰り返して指導し定着を 図るよう配慮するものとする。</p>		
<p>4. Reading—本文の題材だけに できるだけ集中して学ぶこと によって、内容理解を深めたり 自分の考えを広げたりする。</p>	<p>内容(1) ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを 聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要 や要点をとらえたりする。 内容(1) イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読 したり精読したりするなど目的に応じた読み 方をする。また、聞き手に伝わるように音読 や暗唱を行う。 内容(2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章 の構成や図表との関連などを考えながら読ん だり書いたりすること。</p>	<p>Lesson 1,2 は 4、5 ページ目、 Lesson 3 は4、 6 ページ目、 Lesson 4~10 は 4、5、6 ペー ジ目、Lesson 11,12 は4、5、 6、7 ページ目</p>	<p>4 ~ 6</p>
<p>5. Listening, Writing, Speaking—学習した内容をも とに、情報や考えを理解した り、概要や要点をとらえたりす る。</p>	<p>内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に 取り扱うものとする。 コミュニケーション英語Ⅰ内容の取扱い(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基 礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞い たことや読んだことを踏まえた上で話したり 書いたりする言語活動を適切に取り入れなが ら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付 けつつ総合的に指導するものとする。 内容(1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経 験したことに基づき、情報や考えなどについ て、話し合うなどして結論をまとめる 内容(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経 験したことに基づき、情報や考えなどについ てまとまりのある文章を書く。 内容(2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に 伝わるように話したり書いたりすること。</p>	<p>各レッスン 最終ページ目</p>	<p>1</p>
		<p>計</p>	<p>8~ 10</p>

B. 目次順にそった対照表（年間指導時数）

※各レッスンについては、内容は上記の通りなので、ここでは主要文法項目のみを記載する。

（第三章英語に関する各科目共通する内容等ウ文法事項）

また、本文中の単語数、新出単語数、新出慣用表現数は、図書、通し番号ページvを参照する。

（第三章英語に関する各科目共通する内容等ア連語及び慣用表現）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
Grammar Review from ATLANTIS Hybrid English Communication I Standard	内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	1～ 6ページ	3
More Classroom English -Classroom English を導入する	内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。	7ページ	適宜
Lesson 1 - What do foreigners think about Japan? - 外国人の物の 見方を学ぶ	関係代名詞 - what, whose	8～1 3 ページ	8
Lesson 2 - What is your favorite season? - 四季を味わう	比較級 最上級	14～ 19ペー ジ	8
Lesson 3 - Welcome to Australia. - オーストラリアを知る	分詞の形容詞的用法 関係副詞 how	20～ 26ペー ジ	8
Review 1 - Lesson 1 - 3 の文法と語 いの復習	内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	29～ 31ペー ジ	2
Grammar in Daily Use	内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を体験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。	31～ 32ペー ジ	1
Sing a Song - Take Me Out To The Ball	内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。	32ペー ジ	適宜
Lesson 4 - Tsu-ju and Kemari - the Forerunners to Soccer - サッカーの 先がけを知る	現在分詞の限定用法 「～している…」 過去分詞の限定用法 「～された…」	33～ 40ペー ジ	8
Lesson 5 - Our Experiences Abroad - 国による習慣の差異を学ぶ	現在分詞の叙述用法 / SVOC (C = 現在分詞)	41～ 47ペー ジ	8

Lesson 6 - Global Warming - 地球温暖化について考える	SVOC (C = 原形不定詞) watch, listen to SVOC (C = 原形不定詞) let, make	48～ 54ページ	8
Review 2 - Lesson 4 - 6 の文法と語いの復習	前出と同様	55～ 58ページ	3
Grammar in Daily Use	前出と同様	59 ページ	1
Writing and Presentation	内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。 内容 (2) エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。	60～ 62ページ	6
Lesson 7 - Robert Johnson and the Blues - ブルースについて学ぶ	分詞構文 現在分詞 (because の復習) while, after, when	63～ 69ページ	8
Lesson 8 - Life After High School - 高校卒業後の進路について考える	現在完了進行形 過去完了形	70～ 76ページ	8
Lesson 9 - Mount Fuji - 富士山の現状を知る	関係代名詞の非制限用法 seem, appear	77～ 83ページ	8
Review 3 - Lesson 7 - 9 の文法と語いの復習	前出と同様	84～ 87ページ	3
Grammar in Daily Use	前出と同様	88ページ	1
Sing a Song - We Wish You a Merry Christmas	前出と同様	89ページ	適宜
Lesson 10 - Valentine's Day, White Day, Black Day - 国による祝い方を知る	if, whether - 副詞節として使う場合 形式目的語の it	90～ 95ページ	9
Lesson 11 - The Olympic Games - オリンピックの起源と歴史を学ぶ	間接疑問文 (疑問詞) 間接疑問文 if, whether	96～ 101ページ	10
Lesson 12 - Humans and Animals - 人間と動物の違いについて理解する	SVO + 不定詞 WH + 不定詞	104～ 110ページ	10
Review 4 - Lesson 10 - 12 の文法と語いの復習	前出と同様	111～ 114ページ	3
Grammar in Daily Use	前出と同様	115ページ	1
Storytelling from Pictures	内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして	116～ 118ページ	6

	<p>結論をまとめる 内容（１）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。 内容（２）エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p>		
<p>Reading - Charles Dickens - デイケンズの生涯と彼の作品を読み深める（レッスン１～１２までの文法事項全てを含んだ文章構成）</p>	<p>内容（１）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 内容（１）イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 内容（１）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。 内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の３と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（２） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>119～ 124ページ</p>	8
<p>Additional Reading - Four fables for your reading pleasure by Aesop</p>	<p>内容（１）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<p>125～ 128ページ</p>	適宜
<p>Vocabulary Builder - 同義語を使って語い力を強化する</p>	<p>内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の３と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（２） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>129～ 132ページ</p>	適宜
<p>Word/Phrase List - 本書であつかう語句を一覧にして学ぶ。また適宜空欄があるので、辞書を使って単語の意味を調べられる。</p>	<p>内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の３と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（２） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>133～ 138ページ</p>	適宜
<p>Fluency - ネイティブスピーカーのように話すヒントとその練習を、実践を通して身に付ける。</p>	<p>内容（２）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>	<p>139～ 140ページ</p>	1
		計	140